

令和4年度事業計画

現在の日本は、少子高齢化が急速に進み、総人口は減少の一途をたどっています。このことは生産年齢人口の著しい減少とそれに伴う労働力の弱体化に連動し、社会経済活動全般に影響を及ぼしています。

一方、高齢者の多くは自分なりの生きがいや社会参加を強く望んでおり、自身のライフスタイルに合った就業や地域社会への係わりを模索しております。

こうした中「生涯現役社会」を実現するためのシルバー人材センターが担う役割はますます大きくなっています。しかしながら企業において高齢者が継続して働ける環境が年々広がっている中、センター会員の入会希望者の減少や構成会員の年齢も上昇傾向にあり懸念されます。シルバー人材センター事業を安定的に継続していくには、会員を増やしていくことと就業機会の拡大を図ることが必要不可欠となります。

シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある高齢者が就業を通じて生きがいを得ることを目的として設立されました。「自主・自立、共働・共助」を基本理念とし、高齢者が長年培った知識や経験、技能を活かして就業することにより、高齢期の生活と社会参加による生きがいを充実するとともに、地域に活力を生み出し、地域社会の福祉と活性化に寄与しています。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症の拡大は未だ収まりを見通せない中で、経済・雇用情勢にも厳しい状況が続いておりますので、高齢者の感染拡大にも注意を払い会員の健康と安全に万全を期して事業を進めてまいります。

令和4年度におきましては、令和3年度からの第3次中期計画の中間年となることから、本事業計画に重点項目を抽出し、計画達成に向け事業を展開してまいります。

1 会員数の拡大と会員の育成

シルバー人材センターにとって会員数の拡大は、シルバー事業を展開していくうえで必要不可欠なことであり、会員の増員に積極的に取り組んでまいります。会員の様々な経験や知識を生かした就業分野の拡大や地域のニーズに対応した多様な就業機会を図り会員の確保に努めてまいります。

コロナ禍で各種講習会の開催が限定される中、県連合会の技能講習やセンター会報を活用し、会員の意識・スキルの向上を図ってまいります。

- ①会員数の拡大・退会抑制
- ②会員の意識・スキルの向上
- ③女性会員の確保

2 就業機会の確保

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、就業開拓委員による企業等への訪問が難しい状況ですが、就業開拓の方法を検討し就業機会の確保を図ってまいります。また、広くシルバー人材センターの意義を発信し、新規就業につながるよう働きかけてまいります。

市主催の介護予防・生活支援サービス担い手養成研修等に会員を派遣し、生活支援訪問サービスの就業につなげてまいります。

- ①就業開拓の強化
- ②地域に密着した就業開拓

3 安全・適正就業の推進

安全就業は、シルバー事業の実施にあたって基本であり、「安全はすべてに優先する」、「安全なくして就業なし」を常に意識する啓発を行い、事故の撲滅に努めてまいります。特に草刈での飛石事故等が多発している状況から、防御板などで飛石を防ぐ周知をしてまいります。

また、適正就業については、適正就業ガイドラインや関係法令を遵守し、適正就業に努めてまいります。

- ①安全意識の啓発と安全対策の周知徹底
- ②会員の健康管理に対する意識向上
- ③適正就業の推進